

基本方針

副会長 鈴木 貴

担当委員会名／とうかい号運営委員会

戦後の復興期に先輩は、新しい日本の再建は我々青年の仕事であるという気概を胸に J C を立上げました。やがてその小さな灯は同志の集まりにより全国へと波及して行きます。なぜ波及したのか、それは明るい豊かな社会の実現を誰もが想い描いた結果ではないでしょうか。日本は現在、北朝鮮を台風の目とした大きな渦に我が国のみならず世界中が巻き込まれ、不安定で目まぐるしく変化する社会情勢の中で災害、国政、経済と克服しなければならない課題が多くあります。しかし、どんな時代でも我々 J C 会員一人ひとりが、英知と勇気と情熱をもって挑戦し続けることが、何よりも大切であると考えます。40歳という限られた時間の中、一人ひとりが自分の歩みをいくつ残せるのかが大切です。時に一人で、時に仲間で歩みの積み重ねを、明るい豊かな社会の実現へと傾けることが今後の J C の未来へつながると確信しています。

地域の未来を担う青年達が集うとうかい号は、今年で45回目を迎えます。J C 青年の船「とうかい号」事業は岐阜ブロック協議会のみならず、東海地区最大の対外事業です。この歴史ある一大事業を通じ、一般団員には船という非日常的空間で仲間とともに研修、企画そして寄港地では郷土、文化を通し、「和」の精神性と国に対する誇りをもつ人材へと成長していただけると考えます。J C 団員は一般団員の不安を取り除き全力で支えサポートしていく中で新たな気づき学び経験を得て、自己研鑽の場になると確信致します。

結びに、歴史あるとうかい号の新たな1ページを紡いでいけることに感謝と責任を自覚し、また J C 運動が行えることは家族、会社、社会の理解が必要不可欠です。感謝とともに、貴重な時間を一人ひとり全力で取り組むことが J A Y C E E としての使命であり、これまで J C 運動を行ってきた先輩が歩まれた歴史と伝統を礎に、新たな価値を見出すことに、確固たる志と使命感をもって邁進してまいります。